

## ヒートパイプ埋め込み式ヒートシンク

パソコンやワークステーション、サーバー等に搭載されるCPUは、その高性能化に伴い、発熱量と発熱密度がますます高くなっております。このような場合に、CPUの冷却のために銅製のヒートシンクがよく使われますが、さらに放熱特性を向上したいという要望があります。また、一般に、放熱能力を確保するため大型のヒートシンクを必要とする反面、電子部品を高密度に実装するケースもあります。

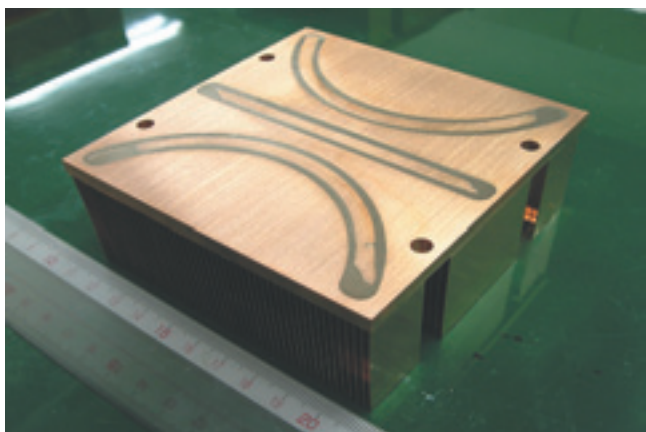
このような場合には、ヒートパイプの高熱伝導性を利用して、ヒートシンクのベースにヒートパイプを這わせたり、埋め込んだりする方法が有効です。

ミズデンでは顧客のご要望にお答えして、高発熱密度対応ヒートシンクの製造を行っております。

### ヒートシンク外形寸法

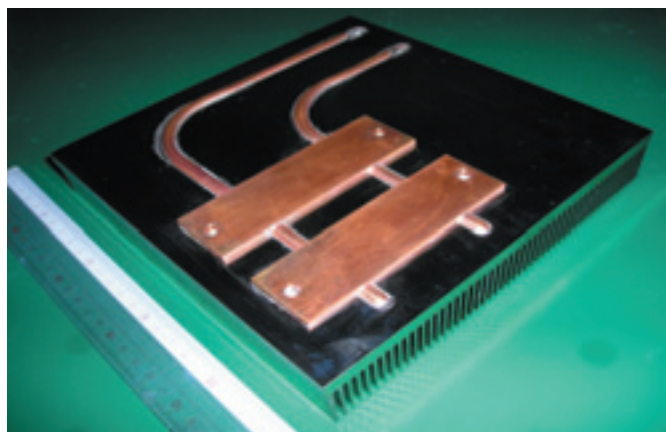
#### ①サーバー用ヒートシンク

巾100×長さ100×全高40、ベース5t  
材質：C1100



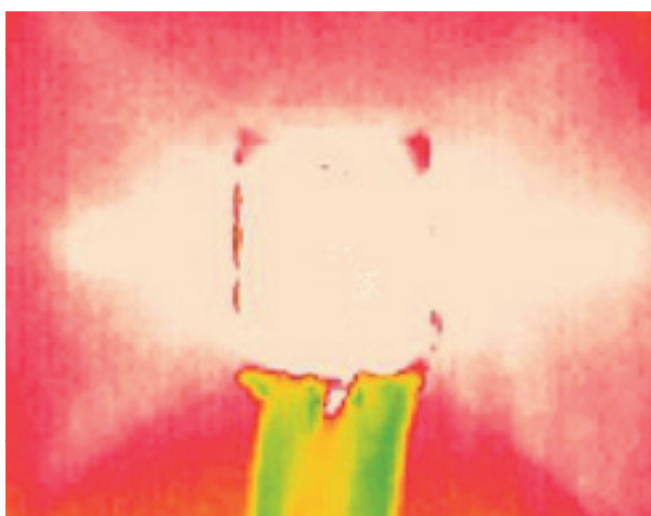
#### ②産業用ヒートシンク

巾200×長さ200×全高33.4、ベース8t  
材質：A6063S

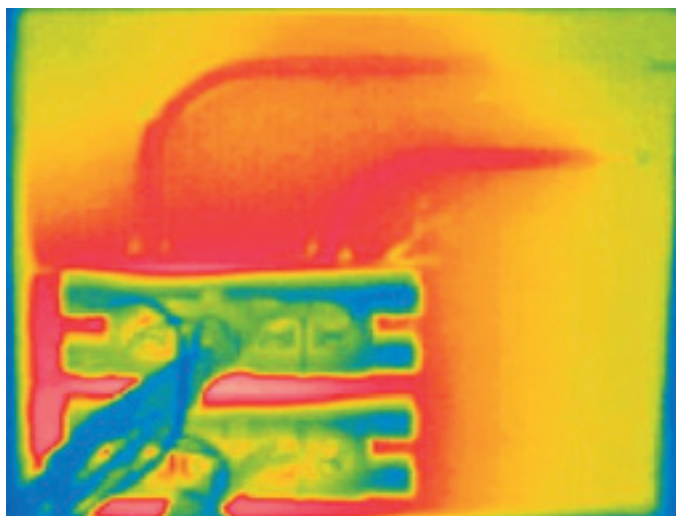


実用新案登録 第3138847号

サーモグラフィーによる温度分布観察



熱源サイズ：20×25、1個使用  
熱源位置：ベース面中央  
熱負荷：100W



熱源サイズ：32×106、2個使用  
熱源位置：ベース面左下  
熱負荷：500W